

# 緑化だより

No.109 平成27年9月号



マツカゼソウ

- 緑化センターの希少な樹木(17)
- 野鳥の世界(ヤイロチョウ)
- 病虫害の話
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内



**生き物いっぱい 自然いっぱい**

**広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園**

**〒732-0036 広島市東区福田町 166-2**

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail [hiroshima@ryokka-c.jp](mailto:hiroshima@ryokka-c.jp)

# 緑化センターの希少な樹木

## No. 17 シマサルスベリとオニグルミ

シマサルスベリは屋久島以南から台湾などに分布する落葉高木です。花は白色でサルスベリに比べ小さくあまり目立ちませんが、この木の特徴は、樹皮の色が夏は涼しげな乳白色に、冬は赤褐色と変わることです。これは春に肥大した幹が新しい樹皮を作り、暑くなる7月頃、衣替えでもするように古い皮を脱ぎ捨てることによります。この原稿を書いている時、まさにそういう光景が見られましたが、この緑化だよりが発行された時に見られるかどうかです。このように脱皮をする木は、リョウブ、バクチノキ、プラタナスなどでも見ることができます。県木の森の下の方に数本あります。

オニグルミは古い時代から利用され、一般によく食べられているテウチグルミよりもはるかに殻が硬く、殻から可食部分を取り出すのに苦労しますが、味はコクがあって美味しいそうです。野生のリスが集めるのもこのオニグルミで、巣の中に溜めるのではなく、縄張り周辺の広範囲の地面に埋めて越冬などの蓄えにします。その何割かは忘れられて残り、発芽するという動物による種子散布で勢力範囲を広げています。苗畑内に1本ありますのでご覧になりたい方は管理事務所までお申し出ください。(川上)



シマサルスベリ



オニグルミ

# 野鳥の世界

## ヤイロチョウ

中、四国山地では、数年に1度程度しか確認されない珍しい鳥です。

体長15～28cmとモズより少し大きく、体の色は八色の模様で彩られ、熱帯の野鳥であることを感じさせます。緑色の背中とコバルト色の腰、黄色と赤色の腹部、頭頂の赤、クチバシから眼を結ぶ過眼線の黒、首の白など八色の色で飾られた野鳥は他では見られません。又、湿地に近い地上で採食をするため、太くて長いくちばしや長い足が目立ちます。



ヤイロチョウ

過去、広島県内で観察された例がありますが、非常に貴重な記録として残されています。今年、平成27年6月23日(晴れ)13時15分頃、緑化センターレストハウス東側の谷へ渡来し鳴いたことが確認され、録音されました。

ヤイロチョウは、昼なお暗い深い谷の樹林帯で営巣、子育てをしているようです。緑化センターの東側の谷はヤイロチョウが好みそうな環境があるのですが、明るく狭いのが残念です。又、その場所はタヌキ、イタチ、テン、シカ、イノシシが天下取りしている跡が読み取れます。

今シーズンは他にもコマドリ、コルリ、リュウキュウサンショウクイの渡来が確認され、珍鳥に恵まれた年でした。(吉見)

## 病虫害の話

### マダニ

今年はマダニに刺されたという報告が多いように思います。6月に、初めの報告があり、その後、イベントに参加された方や、園内を散策されていた方々など10数例の報告がありました。以前、テレビでも放映されていましたが、道路沿いの草むらを虫取り網で撫でながら歩くだけでも捕獲できるくらい、草が茂っているところにはどこにでもいるようです。

ライフサイクルは、草むらで孵化した卵⇒幼ダニ(1回目の寄生。数日間吸血し草むらで脱皮)⇒若ダニ(2回目の寄生。草むらで2度の脱皮)⇒親ダニ(成虫)(草むらで宿主を待ち、3回目の寄生。栄養をとった成虫は、草むらで産卵)を繰り返します。動物が近づくと体温や二酸化炭素を感知し、素早く飛び移り、移動をはじめ皮膚の薄いところに噛みつき口を固定して吸血を始めます。マダニに刺されても、他のダニや虫のような痛みやかゆみがないので気づきにくいのですが数日間吸血する頃には1cm位になります。



マダニ

活動が活発になるのは、気温が15℃以上になる5月上旬くらいから夏にかけてですが、秋に産卵した卵がふ化する冬も、幼ダニや若ダニがいますので安心できません。

草むらに入るときは、長そで、長ズボンで足元をしっかりしばっておく。又虫よけスプレーも有効です。帰宅後は風呂に入り体をチェックしてください。マダニの場合は、ルーペで見ると写真のように8本の脚が見えます。見つけても無理にとろうとすると、口が残ることがあります。また、マダニが病原菌を持っていた場合、数日から数週間の潜伏期間を経て、発病することがあります。

昔から①線香の火を近づけると熱がって離れる。②強いアルコールや家庭用殺虫剤を綿棒にしみこませマダニに塗る。③噛みついている部分にワセリンを塗ると窒息し外れる。など言われますが、無理にとって口先が残ると感染症を引き起こすことがありますので噛まれたら皮膚科を受診するのが一番です。(山根)



## 研修会のご案内

- 9月 4日(金)『**薬草で健康長寿**』  
心も体も薬湯気分  
10:00～12:00 学習室 集合  
講師：広島国際大学教授  
神田 博史
- 9月 6日(日)『**シダの観察会**』  
園内を散策しながらシダの名前を学びます  
10:00～12:00 学習室 集合  
講師：シダ研究家  
佐野 俊和
- 9月 15日(火)『**秋の接木教室**』  
秋でもできる接木の実習をしよう  
10:00～12:00 学習室 集合  
講師：NPO法人「樹木医ひろしま」理事長  
溝口 幸平太
- 9月 23日(水・祝)『**美味しいきのこ  
ハタケシメジ栽培教室**』  
栽培は簡単、家庭で気楽に作ってみよう  
※ 要予約(先着30組) 材料費1,300円  
10:00～12:00 学習室 集合  
講師：きのこアドバイザー  
井上 祐一
- 9月 25日(金)『**9月の自然探勝**』  
秋来ぬと目にはさやかにみえねども…  
10:00～12:00 管理事務所前 集合  
講師：NHK 広島文化センター  
アシスタント 上村 恭子

## ♪☆お知らせ・ご案内☆♪

### 縣市連携統一愛称披露

### 及び 緑化センター開園35周年記念イベント

11月3日(火・祝)

広島市森林公園をメイン会場、広島県緑化センターをサブ会場に統一愛称披露イベントを行います。  
また今年、緑化センター開園35周年になります。  
開園記念として楽しんでいただけるイベントを計画しています。

### ◎ 展示会

場所:レストハウス

(ガラスケース展示)

#### ・「陶友会」陶芸作品展示(福田公民館)

9月2日(水)～10月4日(日)

(ボード展示)

#### ・野鳥写真展

8月26日(水)～9月27日(日)

9月の休園日 ; 7(月), 14(月), 24(木), 28(月)



「陶友会」陶芸作品展示より



野鳥写真展より